



ITP2.0対応について for iTAG

本書類の内容に関する一切の権利につきましては当社に帰属し、本書類の全部または一部を当社の事前承諾なしに公表または第三者に開示することはできませんので、貴社限りとしてお取扱ください。

一般

Copyright © 2017, ValueCommerce Co., Ltd.

Intelligent Tracking Prevention 2.0とは

<https://webkit.org/blog/8311/intelligent-tracking-prevention-2-0/>

昨年2017年にAppleからリリースされたiOS 11.0/Safari 11.0にてセキュリティ強化のために追加された機能のバージョンアップです。Safariブラウザ上のユーザ行動の追跡するCookie(アクセス先のドメインとは異なるドメイン)を制限する機能をバージョンアップし、さらに強かに制限をかけることを目的とした機能となります。

1.0からの主な変更点

公開済Webkit情報

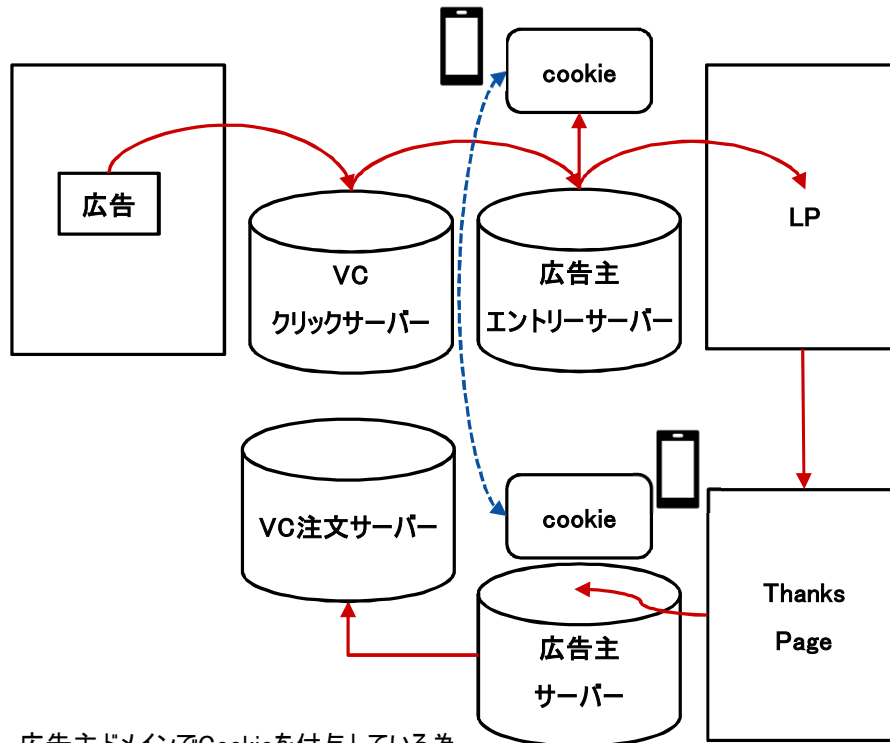
- トラッカーと認識されたCookieの即時排除
- トラッカーからのユーザー保護
- Cookieに情報を格納にすることに対するユーザーの許諾

The Apple Worldwide Developers Conference (WWDC)での公演情報

- FingerPrintへの制限

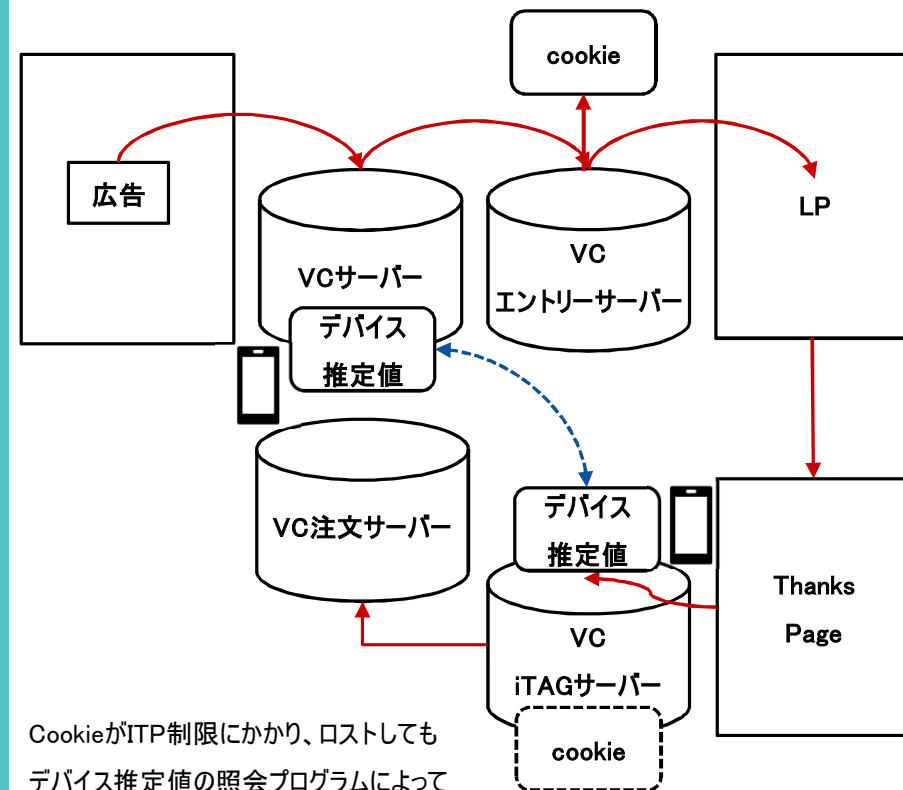
バリューコマースのこれまでの対応

iTRACK



広告主ドメインでCookieを付与している為
(1stpartyCookie)ITPの制限対象外であり
問題なし

iTAG



CookieがITP制限にかかり、ロストしても
デバイス推定値の照会プログラムによって
トラッキング漏れを解消

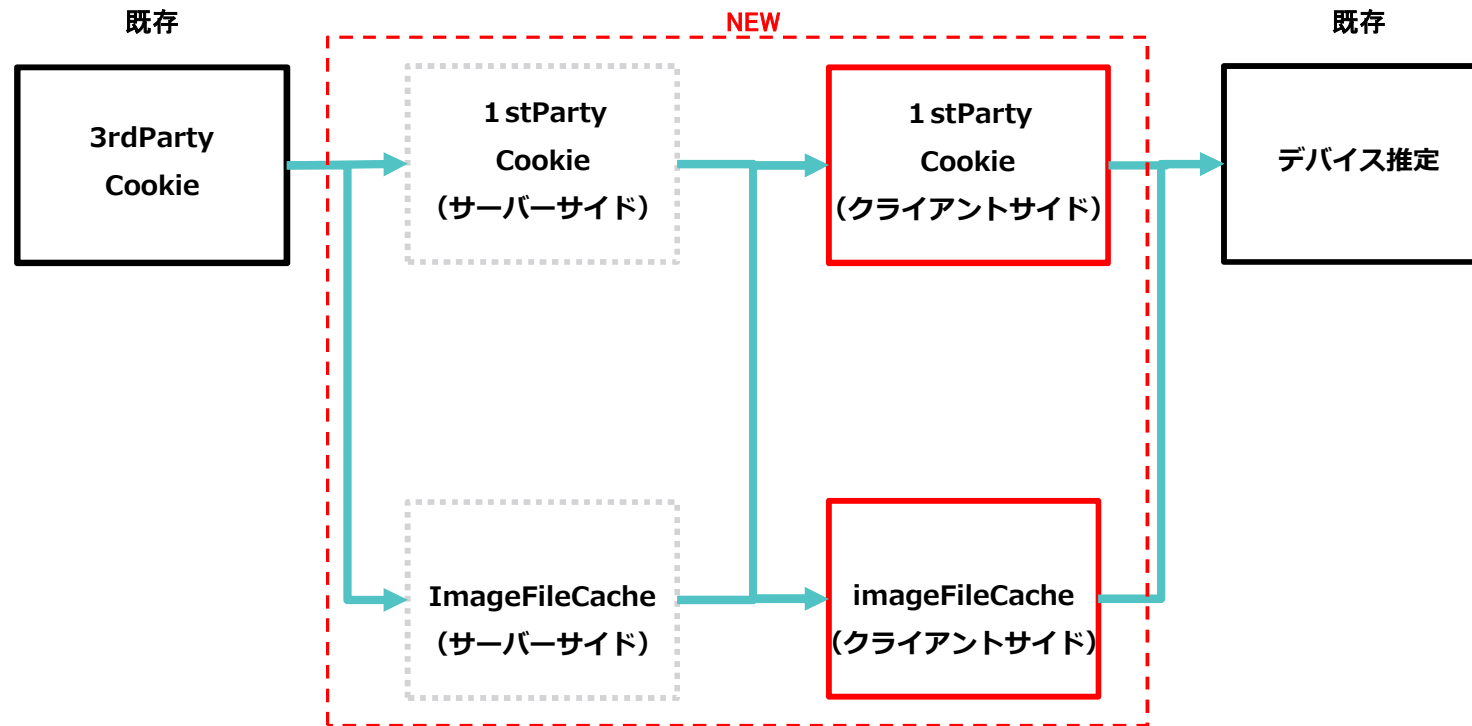
Intelligent Tracking Prevention 2.0による懸念点

- トラッカーと認識されたCookieの即時排除
- **トラッカーからのユーザー保護**
- Cookieに情報を格納にすることに対するユーザーの許諾

- **FingerPrintへの制限**

- ✓ **全ての1stPartyCookieが制限を受けない保証はなくなった。**
トラッカー判定された場合は削除される。
- ✓ **トラッカーとしてApple社に認識された時点でデータは消失する危険性**
- ✓ **FingerPrintの制限によってトラッキング精度が落ちる可能性**

トラッキングシステムを強化し対応します。



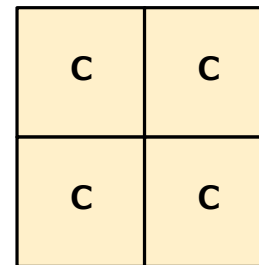
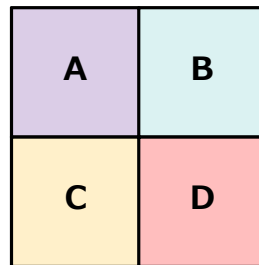
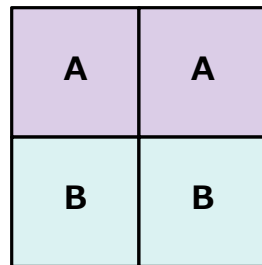
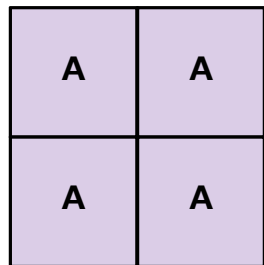
バリューコマースでは、従来のトラッキングに加えて、
様々なシチュエーションを想定し、トラッキング環境の
整備・構築を進めています。

ImageFileCache トラッキングとは

Cookieを使ったトラッキングにかわる新技術「iCache」。※特許出願中
 ユーザーが広告を閲覧もしくはクリックする度にユニークな値を付与した
 イメージファイルを作成し、ブラウザ内キャッシュに保存。

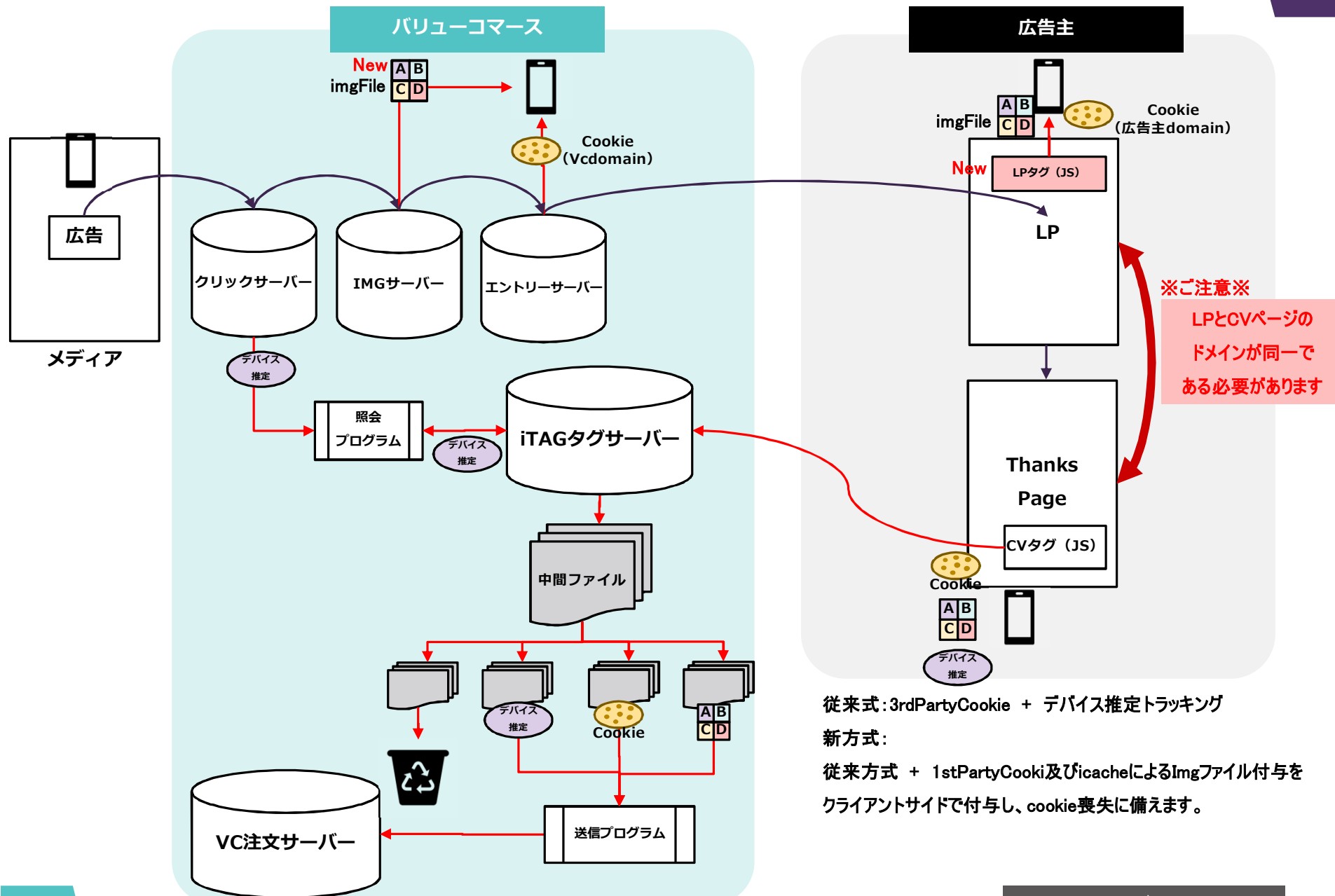
コンバージョン時に回収したキャッシュ情報とクリック時に付与した
 キャッシュ情報を突合しトラッキングを行います。

2×2ピクセルにおけるイメージファイル例



ユニークになるイメージファイルを
 リクエスト毎に作成し
 ブラウザのキャッシュ内に保存し、
 ユーザーがThanksYouページに
 到達した際にブラウザ内のキャッシュ
 を突合して成果を計測します。

バリューコマースアフィリエイトトラッキングの仕組み



※ご注意※
LPとCVページの
ドメインが同一で
ある必要があります

従来式: 3rdPartyCookie + デバイス推定トラッキング
 新方式:
 従来方式 + 1stPartyCookie及びicacheによるImgファイル付与を
 クライアントサイドで付与し、cookie喪失に備えます。

【ランディングページタグ動作内容】

- 1) ユーザーがLPへ遷移時に、該当のJSタグを読み込む
- 2) ユーザーのブラウザにcookieを付与する
- 3) icache用beaconを発信する

※遷移したURLに【vc_lpp】のパラメータがある場合に動作します。
そのため弊社アフィリエイト広告経由のURLの最後に
【vc_lpp】のパラメータを強制付与致します。

付与するCookie詳細は以下となります

Key : _vc_citi_広告主ID

Contents : リダイレクト時にvc_lppパラメータで渡されたトラッキング識別値

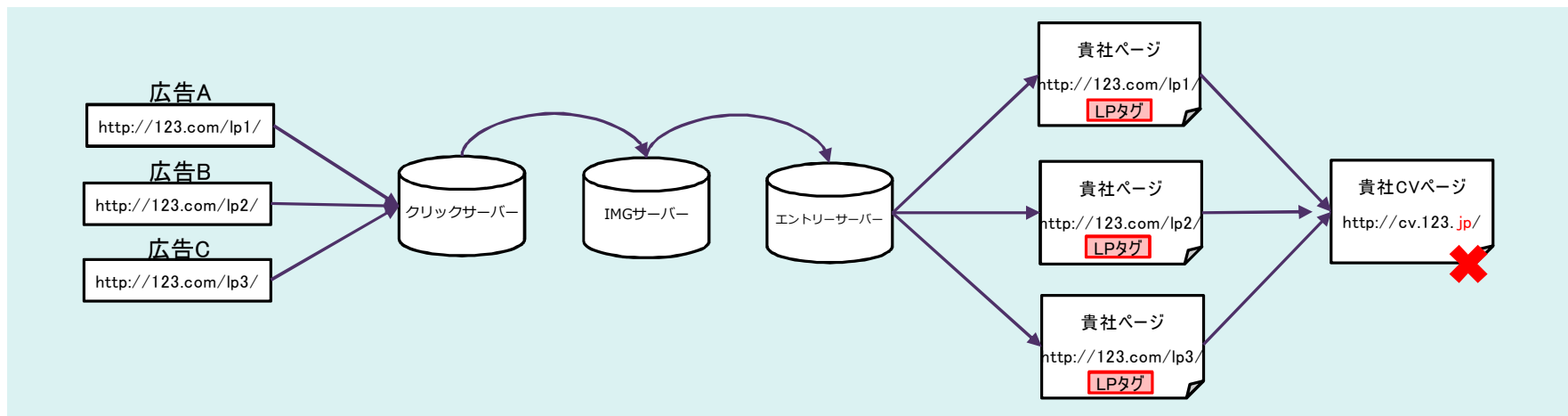
domain: LPドメインの2nd及び3rd level

path: /

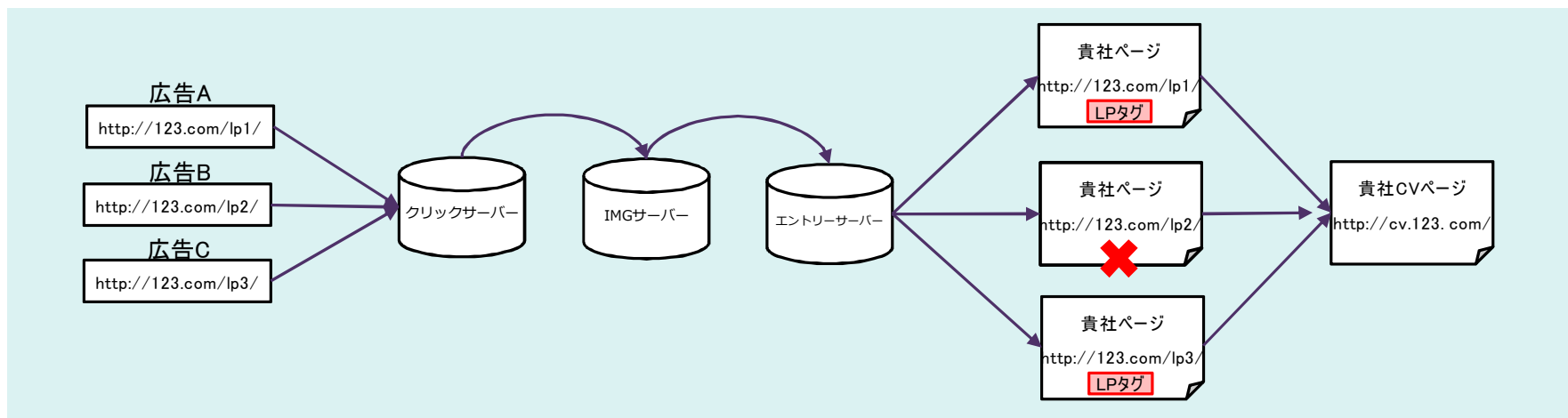
expire: VCシステム設定値の日数

ランディングページタグでトラッキングができないパターン

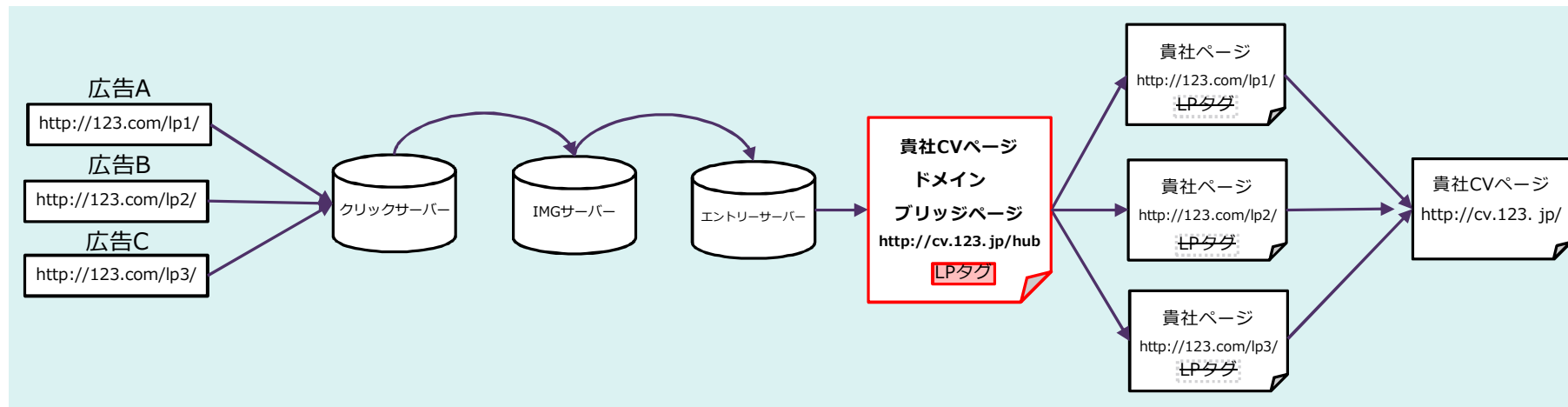
ドメイン不一致：全てのLPページタグが作用しません。



ランディングページタグ設置漏れ：設置が漏れたページ経由のトラッキングができません。



ランディングページタグの設置漏れ及びドメイン不一致を解決します。



全ての広告の遷移を新たに納品するブリッジページに一度集約し、ブリッジページに設置しているランディングページタグにて貴社コンバージョンページドメインのCookie及びimageFileをユーザーのブラウザへ付与します。

その後、同じくブリッジページ内に設置しているリダイレクトJSによって、広告に設定されているURLへリダイレクトさせます。

導入メリット

- ・ 設置が簡単（弊社納品HTMLをUPするのみ）
- ・ タグの設置漏れを回避
- ・ ドメイン不一致対応

リスク

- ・ リダイレクト回数が増え、遷移速度に影響
- ・ ドメイン違いの場合、CookieはITP判定され削除される可能性（Cacheトラッキングのみ対応）
- ・ 上記の結果、貴社がCookieを用いて独自の計測をしている場合、差異が発生する可能性

■ 以下いずれかの導入方法を決定

- 1) 全ページヘランディングページタグ設置
- 2) ブリッジページを設けて対応

■ 以下の対応をお願いします

- 1) プログラムで遷移する全てのランディングページへ下記JSタグの設置をお願いします

```
<script type="text/javascript" src="//trj.valuecommerce.com/vclp.js" async></script>
```

- 2) 次ページのHTMLコードをコンバージョンページドメイン配下のページにアップし、そのページURLをお知らせください

※ 1) のトラッキング方法は広告が遷移するランディングページのドメインと成果タグが設置されているページのドメインが一致している必要があります。

※ CVタグについては既にiTAG (JSタグ) に切り替えを行なっている広告様については既存タグのまま変更ございません。

※ imgFileCacheトラッキングによる注文の反映はタグの設置後、弊社テストチームによるエントリー切替後開始されます。

※ 別途テスト案内を行ないますので、事前のトラッキングテストのご協力をお願いします。

ブリッジページHTMLコード

```
<html>
<head>
<!-- vc cushion js -->
<script type="text/javascript" src="//trj.valuecommerce.com/vcushion.js"></script>
</head>
<body>
</body>
</html>
```

上記ページで行なう動作

- HTMLコードをアップしたドメインのCookieをユーザーのブラウザに付与
- icache用のimageFileをユーザーのブラウザに付与
- 管理画面に登録している広告の指定遷移先及びMylinkでASが指定した遷移先へのリダイレクト

ご利用にあたって

- 上記ページをGA等を用いて独自計測をおこなう場合などは、任意で設定いただいで問題ございません。

1. ITPの影響で1stPartyCookieへの影響は確定的ですか？

→確定ではございません。詳細の仕様は公開されていませんのでリリース後に検証する必要があります。

2. ITPの影響でデバイス推定技術への影響は確定的ですか？

→確定ではございません。公開されているWebKit上にはFingerPrintに関する記述はございません。

どのような影響が発生するか現時点では不明となります。

3. imgFileCacheによるトラッキングでITP2.0によるトラッキングロストへの影響はなくなりますか？

→検証はできません。公開されているWebKit上にはcacheに関しての制限の記述はございませんが、詳細の仕様は公開されていませんのでリリースされて検証する必要があります。

4. imgFileCacheの有効期限は何日ですか？

→現在cookieの有効期限で設定されている日数を超えて注文が反映されることはありません。

5. imgFileCacheのトラッキング精度はどの程度でしょうか。

→imgFileCacheトラッキングはCookieと同様にユーザーのブラウザを特定する技術です。

ITP2.0の影響は現在検証中ですが、Cookieと同等のユーザー特定精度となります。

6. imgFileCacheでデバイス横断のトラッキングは可能でしょうか。

→imgFileCacheはCookieと同様にユーザーのブラウザを特定する技術です。ユーザーがブラウザを

横断した場合はトラッキングできません。弊社で導入済みのデバイス推定技術トラッキングをご活用ください。